



データコレクタ

CyclopsM

設定ガイド (標準アプリ版)

Rev 1.0 : 2021 年 1 月 22 日

目次

はじめに	3
1. 各種設定変更	4
1.1 設定初期化(出荷状態に戻す)設定	4
1.2 設定変更状態通知	4
2 システムに関する設定	5
2.1 Bluetooth デバイス名設定	5
2.2 Bluetooth PIN コード設定	5
2.3 電源 OFF 時間設定	6
2.4 ブザー音程設定	7
2.5 ブザー音量設定	7
2.6 キータッチ音設定	7
2.7 バイブレーション設定	8
2.8 バーコード読取り失敗時のブザー音通知設定	8
2.9 Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知設定	8
2.10 バーコード読取りタイムアウト設定	8
3. BT スキャナモードでの HID 通信に関する設定	9
3.1 HID 送信データフォーマット	9
3.2 ヘッダー(Header)の付加設定	9
3.3 フッター(Footer)の付加設定	10
3.4 付加文字 1(Termination_1)設定	11
3.5 付加文字 2(Termination_2)設定	12
3.6 付加文字 3(Termination_3)設定	12
3.7 UP キー押下時の送信設定	13
3.8 DOWN キー押下時の送信設定	14
3.9 ファンクションキー押下時の送信設定	15
3.10 キャラクタ間のディレイ時間設定	16
3.11 iOS/Android と Windows でのキーボード配列設定	17
3.12 バーコード内英字の大文字/小文字変換設定	17
3.13 コード ID キャラクタ転送設定	18
3.13.1 AIM コードの付加設定	18
3.13.2 Symbol コードキャラクタの付加設定	18
3.14 GS1-128(UCC/EAN-128)バーコードの変換に関する設定	20
3.14.1 可変長区切り文字の変換設定	20
3.14.2 アプリケーション識別子(AI)毎に括弧「()」を付加する設定	21
3.14.3 可変長区切り文字(GS キャラクタ)送信後のディレイ時間設定	21
3.15 先頭桁切捨ておよび後尾桁切捨て設定	22
3.15.1 UPC-A	22
3.15.2 UPC-E	22

3. 15. 3 JAN/EAN-13.....	22
3. 15. 4 JAN/EAN-8.....	23
3. 15. 5 Code 39.....	23
3. 15. 6 Code 128.....	23
3. 15. 7 NW7 (Codabar)	24
3. 15. 8 ITF (Interleaved 2 of 5)	24
4. バーコード読取りに関する設定.....	25
4. 1 各種バーコードの読取り有効/無効の初期値.....	25
4. 2 一次元反転バーコード読取り設定.....	26
4. 3 バーコード読取り無効化設定.....	26
4. 4 UPC-A.....	27
4. 5 UPC-E.....	28
4. 6 JAN/EAN-13.....	29
4. 7 JAN/EAN-8.....	30
4. 8 Code 39.....	31
4. 9 Code 128/GS1-128.....	31
4. 10 NW7 (Codabar)	32
4. 11 ITF (Interleaved 2 of 5)	33
4. 12 GS1 DataBar.....	34
5. 読取り桁数に関する設定.....	35
6. 複数台の設定用バーコード表の作成.....	36
7. 英数字バーコード.....	37
付録 1 ASCII コード表.....	40
付録 2 キーコード表.....	41
付録 3 AIM コードの各バーコードの修飾子.....	45
改訂履歴.....	46

はじめに

本書は、CyclopsM の標準アプリ版の各種設定変更をする方法について説明しています。
別紙の「ユーザズマニュアル(標準アプリ版)」と合わせてお読みください。

設定を変更するには、BT スキャナモードにて、本書の設定バーコードを読取ることで設定の変更ができます。
棚卸モードや1対N 照合モード、スキャン確認モードでは設定の変更を行うことはできません。

本書の「2. システムに関する設定」、「4. バーコード読取りに関する設定」、「5. 読取り桁数に関する設定」について変更した際は、標準アプリ全体に反映されます。

1. 各種設定変更

本機は工場出荷時の設定で一般的な業務ができるようになっています。
各種の動作設定を変更する事によりカスタマイズが可能です。

「2. システムに関する設定」で、ハード的な項目のカスタマイズが可能です。

「3. BT スキャナモードでの HID 通信に関する設定」では、Bluetooth スキャナ動作の HID 通信時でのデータに関わる設定のカスタマイズが可能です。

「4. バーコード読取りに関する設定」では、キー動作やバーコードの読取りに関わる設定変更が可能です。
尚、BT スキャナおよび棚卸モード、1 対 N 照合モード、スキャン確認モードでのバーコード読取許可、桁数、システムに関する設定は、同じ設定となります。

カスタマイズする場合は最初に初期化バーコードを読取り、工場出荷状態にして設定を開始してください。

設定変更は、本マニュアルの設定バーコードを読取って設定変更をする事が出来ます。

※設定変更は BT スキャナモードにおいて行うことで可能です。

その他の動作モードでは設定変更を行うことはできません。

または、弊社ホームページの「CyclopsM 設定サイト」で設定バーコードをスキャンしてください。

CyclopsM 製品ページ : <https://www.alf-net.co.jp/products/data-collector/cyclops-m-alfark-6100x/>

複数台を同じ設定にする場合は、「6. 複数台の設定用バーコード表の作成」に簡単に複製が出来る方法を記載しています。

1.1 設定初期化(出荷状態に戻す)設定

以下のバーコードを読取ることで設定の初期化を行います。

スキャナ設定、ペアリング情報など全ての情報を工場出荷状態に戻します。

棚卸モードや1対N照合モードの未送信データも削除されますので、ご注意ください。

工場出荷状態は、別紙の「ユーザーズマニュアル(標準アプリ版)」に記載されています。

本マニュアルでは、各設定項に記載されています。

設定初期化	バーコード	コード
通常バーコード		A012A
反転バーコード設定時		

1.2 設定変更状態通知

各種設定バーコードを読取るとスキャン LED 及びブザーで設定成功又は設定失敗か判別できます。

バーコードリーダーの状態	スキャン LED	ブザー音	バイブレーション※
設定成功	緑点灯	ピーピ	長い振動+短い振動
設定失敗	赤点灯	ブブブ	振動なし

※ バイブレーション設定が「振動あり」の場合に、設定成功でバイブレーションが振動します。

設定パラメータの間違ひがある場合に設定失敗となります。パラメータの確認をしてください。

2 システムに関する設定

本項ではシステムに関する設定についてご説明します。

システムに関する設定を変更した場合、標準アプリ全体に反映されます。

2.1. Bluetooth デバイス名設定

デバイス名は本機とホストデバイスとペアリングをするために使用します。

デバイス名の初期値は「CyclopsM+Bluetooth デバイスアドレスの下 4 桁」です。

デバイス名は 31 文字まで設定可能であり、0~9、A~Z、a~z を使用します。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: デバイス名が「ALF12345」の場合、以下のようにスキャンします。

「B011A」「A」「L」「F」「1」「2」「3」「4」「5」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
デバイス名	入力開始		B011A

※ 一度デバイス名を変更するとデバイス名のための初期化をする事はできません。
設定初期化をして工場出荷状態に戻します。

2.2 Bluetooth PIN コード設定

PIN コードの初期値は「0000」です。

PIN コードは 16 文字まで設定可能であり、0~9、A~Z、a~z を使用します。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: PIN コードが「1234」の場合、以下のようにスキャンします。

「B018A」「1」「2」「3」「4」「ZZ」












機能	状態	バーコード	コード
PIN コード入力	入力開始		B018A

Bluetooth PIN コード初期化




機能	バーコード	コード
PIN コード初期化「0000」		A017A

2.3 電源 OFF 時間設定

最後のキーを押してから自動で電源を OFF にする迄の時間設定です。

機能	状態	バーコード	コード
電源 OFF 時間	1 分		A004A1
	3 分		A004A2
	5 分		A004A3
	10 分 (初期値)		A004A4
	15 分		A004A5
	30 分		A004A6
	45 分		A004A7
	60 分		A004A8
	120 分		A004A9
	180 分		A004AA
	240 分		A004AB

2.4 ブザー音程設定

機能	状態	バーコード	コード
ブザー音程	低		A171A0
	中 (初期値)		A171A1
	高		A171A2

2.5 ブザー音量設定

機能	状態	バーコード	コード
ブザー音量	無し		A010A0
	小		A010A1
	中 (初期値)		A010A2
	大		A010A3

2.6 キータッチ音設定

機能	状態	バーコード	コード
キータッチ音	なし		AA12A0
	あり (初期値)		AA12A1

2.7 バイブレーション設定

機能	状態	バーコード	コード
バイブレーション	振動なし (初期値)		A025A0
	振動あり		A025A1

2.8 バーコード読取り失敗時のブザー音通知設定

機能	状態	バーコード	コード
バーコード読取り失敗時	通知あり (初期値)		A006A
	通知なし		A006B


2.9 Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知設定

機能	状態	バーコード	コード
Bluetooth 再接続/切断時	通知あり (初期値)		A005A
	通知なし		A005B

2.10 バーコード読取りタイムアウト設定

バーコードが何らかの原因で読取りできない場合、5 秒(初期値)でタイムアウトします。
タイムアウトは、01~10 の 2 桁の値を設定することで、1~10 秒まで 1 秒単位で変更することができます。
設定する際、数字と「ZZ」とバーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: タイムアウトを 2 秒にする場合、2 桁「0 2」となり以下のように順にスキャンします。
「B113A」「0」「2」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
バーコード読取りタイムアウト	入力開始		B113A

3. BT スキャナモードでの HID 通信に関する設定

本項では BT スキャナモードでの HID 通信に関する設定についてご説明します。

3.1 HID 送信データフォーマット

HID 通信の送信データフォーマットは以下のとおりです。

バーコードデータの前後に 1 文字を付加できます、また、レコード毎に最大 3 文字まで文字を付加できます。

初期値の HID 送信データフォーマットは付加文字無しで「[BarCodeData][Return]」です。

[Header] [BarCodeData] [Footer] [Termination_1] [Termination_2] [Termination_3]

構成値	byte 数	初期値	備考
Header	1	無し	ヘッダー
BarCodeData	—	—	スキャンデータ
Footer	1	無し	フッター
Termination_1	1	Return (28h)	付加文字 1
Termination_2	1	無し	付加文字 2
Termination_3	1	無し	付加文字 3

3.2 ヘッダー (Header) の付加設定

ヘッダーは任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー	無し (初期値)		A115A

1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。

設定する際、英数字と「ZZ」とバーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 「\$」を付加する場合、以下のように順にスキャンします。

「B115B」「2」「1」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー 通常キー配列	入力開始		B115A
ヘッダー Shift キー配列	入力開始		B115B
ヘッダー Alt キー + 通常キー	入力開始		B115C
ヘッダー Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B115D

3.3 フッター(Footer)の付加設定

フッターは任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
フッター	無し (初期値)		A116A

1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」とバーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 「!」を付加する場合、以下のように順にスキャンします。
「B116B」「1」「E」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
フッター 通常キー配列	入力開始		B116A
フッター Shift キー配列	入力開始		B116B
フッター Alt キー + 通常キー	入力開始		B116C
フッター Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B116D

3.4 付加文字 1 (Termination_1) 設定

付加文字 1 は任意の 1 文字を付加できます。

初期値「Return(Enter)」です。スキャンするたびに改行されます。

機能	状態	バーコード	コード
レコード毎の付加文字 1	Return(Enter) [※] (初期値)		B021A
			2
			8
			ZZ
	無し		A021A

※ 「B021A」「2」「8」「ZZ」の設定バーコードを順番に読取ることで、「Return(Enter)」に戻すことができます。

付加文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 「Tab」を付加する場合、以下のように順にスキャンします。

「B021B」「2」「B」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
付加文字 1 通常キー配列	入力開始		B021A
付加文字 1 Shift キー配列	入力開始		B021B
付加文字 1 Alt キー + 通常キー	入力開始		B021C
付加文字 1 (Ctrl キー配列)	入力開始		B021D

3.5 付加文字 2(Termination_2)設定

付加文字 1 は任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
付加文字 2	無し (初期値)		A021B
付加文字 2 通常キー配列	入力開始		B021E
付加文字 2 Shift キー配列	入力開始		B021F
付加文字 2 Alt キー + 通常キー	入力開始		B021G
付加文字 2 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B021H

3.6 付加文字 3(Termination_3)設定

付加文字 1 は任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
付加文字 3	無し (初期値)		A021C
付加文字 3 通常キー配列	入力開始		B021I
付加文 3 Shift キー配列	入力開始		B021J
付加文字 3 Alt キー + 通常キー	入力開始		B021K
付加文字 3 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B021L

3.7 UP キー押下時の送信設定

UP キーを押下すると任意の 1 文字を送信する事が出来ます。

機能	状態	バーコード	コード
UP キー押下時のキーコード	無し (初期値)		AA00A

iPhone、iPad 等の iOS 機器のソフトウェアキーボードの表示／非表示を制御可能です。(Eject キー)

機能	バーコード	コード
UP キー押下時、 iOS 機器のキーボードの表示/非表示キー動作 有効		AA00B

UP キー押下時の文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例:UP キー押下時に「#」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「BA00B」「2」「0」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
UP キー押下時 通常キー配列	入力開始		BA00A
UP キー押下時 Shift キー配列	入力開始		BA00B
UP キー押下時 Alt キー + 通常キー	入力開始		BA00C
UP キー押下時 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		BA00D

3.8 DOWN キー押下時の送信設定

DOWN キーを押下すると任意の 1 文字を送信する事が出来ます。

機能	状態	バーコード	コード
DOWN キー押下時のキーコード	無し (初期値)		AA01A

iPhone、iPad 等の iOS 機器のソフトウェアキーボードの表示/非表示を制御可能です。(Eject キー)

機能	バーコード	コード
DOWN キー押下時 iOS 機器のキーボードの表示/非表示キー動作 有効		AA01B

DOWN キー押下時の文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: DOWN キー押下時に「\$」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「BA01B」「2」「1」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
DOWN キー押下時 通常キー配列	入力開始		BA01A
DOWN キー押下時 Shift キー配列	入力開始		BA01B
DOWN キー押下時 Alt キー + 通常キー	入力開始		BA01C
DOWN キー押下時 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		BA01D



3.9 ファンクションキー押下時の送信設定

ファンクションキーを押下すると任意の 1 文字を送信する事が出来ます。

初期値は「Eject」です。

iPhone、iPad 等の iOS 機器のソフトウェアキーボードの表示／非表示を制御可能です。

Windows 機器では反応をしません。

機能	状態	バーコード	コード
ファンクションキー押下	無効		A022A
	有効(Eject キー) (初期値)		A022B

ファンクションキー押下時の文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。

「付録 2 キーコード」をご確認ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: ファンクションキー押下時に「%」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「B022B」「2」「2」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
ファンクションキー押下 通常キー配列	入力開始		B022A
ファンクションキー押下 Shift キー配列	入力開始		B022B
ファンクションキー押下 Alt キー + 通常キー	入力開始		B022C
ファンクションキー押下 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B022D

3. 10 キャラクタ間のディレイ時間設定

送信時にデータの桁落ちなど異常な現象が発生した場合はディレイ時間を長めに調整をしてください。

機能	状態	バーコード	コード
キャラクタ間のディレイ時間	無し		A024A0
	10ms		A024A1
	20ms (初期値)		A024A2
	30ms		A024A3
	40ms		A024A4
	50ms		A024A5
	60ms		A024A6
	70ms		A024A7
	80ms		A024A8
	90ms		A024A9
	100ms		A024AA

3. 11 iOS/Android と Windows でのキーボード配列設定

iOS、Android で使用する場合は英語設定にしてください。初期値は「英語」です。

Windows 機器でも英数字のみのバーコードを読取る場合は、初期値でも使用できます。

Windows 機器で記号が入ったバーコードの場合は日本語キーボード配列に設定してください。

※機器側は英語入力設定にしてください。日本語入力設定では全角文字で確定待ちの状態になります。

機能	状態	バーコード	コード
英語キーボード配列 iOS、Android 機器	英語 (初期値)		A013A1
日本語キーボード配列 Windows 機器	日本語		A013A2

3. 12 バーコード内英字の大文字/小文字変換設定

読み取ったバーコード内の英字を大文字/小文字に変換設定することができます。

本設定は英字を含む全ての種類のバーコードタイプに反映されます。

機能	状態	バーコード	コード
バーコード内の英字 大文字/小文字変換	変換無し (初期値)		A165A0
	全て大文字		A165A1
	全て小文字		A165A2
	大文字/小文字 逆転変換		A165A3

3. 13 コード ID キャラクタ転送設定

バーコードタイプ毎に読取ったバーコードの先頭に AIM コードまたは Symbol コードキャラクタを付加できます。これにより、バーコードの分類が可能になります。

機能	状態	バーコード	コード
コード ID キャラクタ転送	無効 (初期値)		A112A0
	AIM コード		A112A1
	Symbol コード		A112A2

3. 13. 1 AIM コードの付加設定

各 AIM コードは、3 つの文字列で構成されます。

バーコードの種類毎の修飾子は「付録 3 AIM コードの各バーコードの修飾子」の通りです。

]	フラグキャラクタ(5Dh)
c	コードキャラクタ
m	修飾子

各バーコードのコードキャラクタは以下になります。

コードキャラクタ	バーコードタイプ
E	UPC、JAN/EAN
A	Code 39
F	NW7 (Codabar)
C	Code 128/GS1-128
I	ITF (Interleaved 2 of 5)
e	GS1 DataBar

3. 13. 2 Symbol コードキャラクタの付加設定











Symbol コードキャラクタは任意の値に変更が可能です。

各バーコードの Symbol コードキャラクタの初期値は以下になります。

コードキャラクタ	ASCII コード	バーコードタイプ
A	41h	UPC-A、UPC-E、JAN/EAN-13、JAN/EAN-8
B	42h	Code 39
C	43h	NW7 (Codabar)
D	44h	Code 128
K	4Bh	GS1-128
F	46h	ITF (Interleaved 2 of 5)
R	52h	GS1 DataBar

Symbol コードキャラクタは ASCII コード 2 文字で初期値以外の任意の文字が設定できます。
 ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご確認ください。
 設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: JAN/EAN-13 の Symbol コードキャラクタを「E」にする場合、「E」は ASCII コードで「4」「5」なので
 以下のようにスキャンします。
 「B179A2」「4」「5」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A	入力開始		B179A0
UPC-E	入力開始		B179A1
JAN/EAN-13	入力開始		B179A2
JAN/EAN-8	入力開始		B179A3
Code 39	入力開始		B179A4
NW7 (Codabar)	入力開始		B179A5
Code 128	入力開始		B179A7
GS1-128	入力開始		B179AF
ITF (Interleaved 2 of 5)	入力開始		B179A8
GS1 DataBar	入力開始		B179AE






3. 14 GS1-128(UCC/EAN-128)バーコードの変換に関する設定

3. 14. 1 可変長区切り文字の変換設定

GS1-128 では、数量やロット番号のような可変長データを取り扱います。

可変長データの終端に区切り文字としてシンボルキャラクタ FNC1 を挿入するという仕様になっています。

本機は、ホストデバイスに対して可変長データの終端を知らせるため、FNC1 の位置に可変長区切り文字を挿入して出力します。

機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字	/※ (初期値)		B122A
			3
			8
			ZZ
	無し		A122A

※ 「B122A」「3」「8」「ZZ」の設定バーコードを順番に読取ることで、「/」に戻すことができます。

可変長区切り文字は任意の文字が設定できます。

キーコードについては「付録 2 キーコード」をご確認ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 可変長区切り文字を「#」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B122B」「2」「0」「ZZ」



機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字 通常キー配列	入力開始		B122A
可変長区切り文字 Shift キー配列	入力開始		B122B
可変長区切り文字 Alt キー + 通常キー	入力開始		B122C
可変長区切り文字 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B122D

3. 14. 2 アプリケーション識別子(AI)毎に括弧「()」を付加する設定

GS1-128 は、商品コード、有効期限、数量やロット番号等のデータの先頭にアプリケーション識別子(AI)があります。

それにより、データの範囲や意味を解釈することができます。

以下のバーコードをスキャンすることで AI 毎に「()」を付加して表示することができます。

機能	状態	バーコード	コード
AI 毎に括弧「()」を付加	()を付加しない (初期値)		A168A0
	()を付加する		A168A1

3. 14. 3 可変長区切り文字(GS キャラクタ)送信後のディレイ時間設定

機能	状態	バーコード	コード
GS キャラクタ送信後のディレイ時間	無し (初期値)		A125A0
	100ms		A125A1
	200ms		A125A2
	300ms		A125A3
	500ms		A125A4

3. 15 先頭桁切捨ておよび後尾桁切捨て設定

指定した数だけ読取ったバーコードの先頭又は語尾の桁数を切捨てます。

先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0~9、A~F の 2 文字で任意の 16 進数 で設定できます。

設定する際の英数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

3. 15. 1 UPC-A

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A 先頭桁切捨て	入力開始		BB03A
UPC-A 後尾桁切捨て	入力開始		BB04A

00~0D(0~13)桁で指定します。0E(14)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB03A」「0」「1」「ZZ」

3. 15. 2 UPC-E


機能	状態	バーコード	コード
UPC-E 先頭桁切捨て	入力開始		BB09A
UPC-E 後尾桁切捨て	入力開始		BB10A

00~08(0~8)桁で指定します。09(9)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB09A」「0」「1」「ZZ」

3. 15. 3 JAN/EAN-13

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-13 先頭桁切捨て	入力開始		BB15A
JAN/EAN-13 後尾桁切捨て	入力開始		BB16A

00~0D(0~13)桁で指定します。0E(14)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB15A」「0」「1」「ZZ」

3. 15. 4 JAN/EAN-8

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-8 先頭桁切捨て	入力開始		BB21A
JAN/EAN-8 後尾桁切捨て	入力開始		BB22A

00~08(0~8)桁で指定します。09(9)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB21A」「0」「1」「ZZ」

3. 15. 5 Code 39

機能	状態	バーコード	コード
Code 39 先頭桁切捨て	入力開始		BB27A
Code 39 後尾桁切捨て	入力開始		BB28A

00~32(0~50)桁で指定します。33(51)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB27A」「0」「1」「ZZ」

3. 15. 6 Code 128

機能	状態	バーコード	コード
Code 128 先頭桁切捨て	入力開始		BB51A
Code 128 後尾桁切捨て	入力開始		BB52A

00~3C(0~60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB51A」「0」「1」「ZZ」

3. 15. 7 NW7(Codabar)

機能	状態	バーコード	コード
NW7(Codabar) 先頭桁切捨て	入力開始		BB36A
NW7(Codabar) 後尾桁切捨て	入力開始		BB37A

00～3C(0～60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB36A」「0」「1」「ZZ」

3. 15. 8 ITF (Interleaved 2 of 5)

機能	状態	バーコード	コード
ITF (Interleaved 2of5) 先頭桁切捨て	入力開始		BB55A
ITF (Interleaved 2of5) 後尾桁切捨て	入力開始		BB56A

00～3C(0～60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。







「BB55A」「0」「1」「ZZ」

4. バーコード読取りに関する設定

4.1 各種バーコードの読取り有効/無効の初期値

項目	初期値
一次元反転バーコード読取	通常バーコードのみ
コード ID キャラクタ転送	無効
UPC-A	有効
UPC-A チェックデジット転送	有効
UPC-A から EAN-13 への変換	無効
UPC-A アドオン 2 桁	無効
UPC-A アドオン 5 桁	無効
UPC-E	有効
UPC-E チェックデジット転送	有効
UPC-E から UPC-A への変換	無効
UPC-E アドオン 2 桁	無効
UPC-E アドオン 5 桁	無効
JAN/EAN-13	有効
JAN/EAN-13 チェックデジット転送	有効
JAN/EAN-13 アドオン 2 桁	無効
JAN/EAN-13 アドオン 5 桁/定期刊行物コード(雑誌)	無効
JAN/EAN-8	有効
JAN/EAN-8 チェックデジット転送	有効
JAN/EAN-8 アドオン 2 桁	無効
JAN/EAN-8 アドオン 5 桁	無効
Code 39	有効
Code 39 チェックデジット検証	無効
Code 39 チェックデジット転送	無効
Code 39 スタート・ストップキャラクタ転送	無効
Code 128	有効
GS1-128	有効
NW7(Codabar)	有効
NW7(Codabar) スタート・ストップキャラクタ除去	有効
NW7(Codabar) チェックデジット検証	無効
NW7(Codabar) チェックデジット転送	有効
NW7(Codabar) スタート・ストップキャラクタ設定	ABCD/ABCD
ITF (Interleaved 2 of 5)	有効
ITF チェックデジット検証	無効
ITF チェックデジット転送	有効
GS1 DataBar Omnidirectional	有効
GS1 DataBar Limited	有効
GS1 DataBar Expanded	有効
GS1 DataBar アプリケーション識別子転送	有効
GS1 DataBar から EAN-13 への変換	無効

4.2 一次元反転バーコード読取り設定

機能	状態	バーコード	コード
一次元反転バーコード読取り	通常バーコードのみ (初期値)		A098A0
			
	反転バーコードのみ		A098A1
			
	自動		A098A2
			

4.3 バーコード読取り無効化設定

バーコード読取り無効化の設定をすることで全てのバーコードの読取りが無効になります。

その他、チェックデジット転送等のバーコード読取りに関する詳細な設定は全て出荷状態(初期値)に戻ります。

バーコード読取りに関する初期値は「4.1 各種バーコードの読取り有効/無効の初期値」を参照してください。

読取るバーコードの種類を特定することにより、誤読防止や読取り速度の向上ができます。

例えば、UPC-A のみを読取る場合は、最初にバーコード読取り無効化のバーコードを読み、その後 UPC-A の読取り有効化バーコードを読みます。UPC-A 以外のバーコードは読取れなくなります。

機能	バーコード	コード
バーコード読取り無効化		A167A0

4.4 UPC-A

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A	無効		A042A0
	有効 (初期値)		A042A1
UPC-A チェックデジット転送	無効		A052A0
	有効 (初期値)		A052A1
UPC-A から EAN-13 への変換	無効		AB01A0
	有効 (初期値)		AB01A1
UPC-A アドオン 2 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキヤナが照射されていない場合は、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB06B0
	有効		AB06B1
UPC-A アドオン 5 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキヤナが照射されていない場合は、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB06C0
	有効		AB06C1

4.5 UPC-E

機能	状態	バーコード	コード
UPC-E	無効		A043A0
	有効 (初期値)		A043A1
UPC-E チェックデジット転送	無効		A053A0
	有効 (初期値)		A053A1
UPC-E から UPC-A への変換	無効 (初期値)		A058A0
	有効		A058A1
UPC-E アドオン 2 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキヤナが照射されていない場合は、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB12B0
	有効		AB12B1
UPC-E アドオン 5 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキヤナが照射されていない場合は、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB12C0
	有効		AB12C1

4. 6 JAN/EAN-13

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-13	無効		A046A0
	有効 (初期値)		A046A1
JAN/EAN-13 チェックデジット転送	無効		A172A1
	有効 (初期値)		A172A0
JAN/EAN-13 アドオン 2 桁 有効の場合、アドオン部分にスキャナが照射されていないければ、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB18B0
	有効		AB18B1
JAN/EAN-13 アドオン 5 桁 /定期刊行物コード(雑誌) 有効の場合、バーコード全体を読むようにスキャナが照射されていないければ、アドオン部は読取れない場合があります。 雑誌コードのみ有効の場合、バーコード全体を読むようにスキャナ照射をしないと読取れません。	無効 (初期値)		AB18C0
	有効		AB18C1
	雑誌コードのみ 有効		AB18C2

4.7 JAN/EAN-8

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-8	無効		A045A0
	有効 (初期値)		A045A1
JAN/EAN-8 チェックデジット転送	無効		AB20A0
	有効 (初期値)		AB20A1
JAN/EAN-8 アドオン 2 桁 有効の場合、アドオン部分にスキャナが照射されていないならば、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB24B0
	有効		AB24B1
JAN/EAN-8 アドオン 5 桁 有効の場合、アドオン部分にスキャナが照射されていないならば、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB24C0
	有効		AB24C1

4. 8 Code 39

機能	状態	バーコード	コード
Code 39	無効		A071A0
	有効 (初期値)		A071A1
Code 39 チェックデジット検証 有効とした場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります	無効 (初期値)		A076A0
	有効		A076A1
Code 39 チェックデジット転送 有効とした場合でも、チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます	無効 (初期値)		A077A0
	有効		A077A1
Code 39 スタート・ストップキャラクタ転送	無効 (初期値)		AB26A0
	有効		AB26A1

4. 9 Code 128/GS1-128

機能	状態	バーコード	コード
Code 128	無効		A065A0
	有効 (初期値)		A065A1
GS1-128	無効		A067A0
	有効 (初期値)		A067A1

4. 10 NW7 (Codabar)

機能	状態	バーコード	コード
NW7 (Codabar)	無効		A099A0
	有効 (初期値)		A099A1
NW7 (Codabar) スタート・ストップキャラクタ除去	無効		A102A0
	有効 (初期値)		A102A1
NW7 (Codabar) チェックデジット検証 有効の場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります	無効 (初期値)		AB31A0
	有効		AB31A1
NW7 (Codabar) チェックデジット転送 チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます	無効		AB32A0
	有効 (初期値)		AB32A1
NW7 (Codabar) スタート・ストップキャラクタ設定	ABCD/ABCD (初期値)		AB34A0
	abcd/abcd		AB34A1
	abcd/tn*e		AB34A2

4. 11 ITF (Interleaved 2 of 5)

機能	状態	バーコード	コード
ITF (Interleaved 2 of 5)	無効		A085A0
	有効 (初期値)		A085A1
ITF チェックデジット検証 有効の場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります	無効 (初期値)		A087A0
	有効		A087A1
ITF チェックデジット転送 チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます	無効		A088A0
	有効 (初期値)		A088A1

4. 12 GS1 DataBar

機能	状態	バーコード	コード
GS1 DataBar Omnidirectional	無効		A108A0
	有効 (初期値)		A108A1
GS1 DataBar Limited	無効		A109A0
	有効 (初期値)		A109A1
GS1 DataBar Expanded	無効		A110A0
	有効 (初期値)		A110A1
GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded アプリケーション識別子転送	無効		A170A1
	有効 (初期値)		A170A0
GS1DataBar から EAN-13 へ変換	無効 (初期値)		A111A0
	有効		A111A1

5. 読取り桁数に関する設定

本項の設定は、標準アプリ全体へ反映されます。

読取るバーコードの桁数を指定することで、誤読を防ぐことができます。

桁数指定の方法により、読めないと判定される可能性もありますので、ご使用の前に読取る桁数について十分なご確認をお願いします。

バーコード読取り桁数に関する初期値は以下のようになっています。

項目	初期値
Code 39 桁数指定	01～55 桁
Code 128 桁数指定	01～55 桁
NW7(Codabar) 桁数指定	01～55 桁
ITF(Interleaved 2 of 5) 桁数指定	04～55 桁

機能	状態	バーコード	コード
Code 39 桁数指定	入力開始		B075D
Code 128 桁数指定	入力開始		B066D
NW7(Codabar) 桁数指定	入力開始		B100D
ITF(Interleaved 2 of 5) 桁数指定	入力開始		B086D

読取り桁数を下限と上限を指定します。56 桁以上は設定できません。

下限 2 桁、上限 2 桁の 4 桁値を設定する事で変更ができます。

設定する際、数字と「ZZ」バーコードは「7. 英数字バーコード」をご使用ください。

例： 5～18 桁のバーコードのみ読取る場合、5 は「0」「5」、18 は「1」「8」となります。順に、にスキャンします。

4 文字未満で「ZZ」を読んだときは読取り継続となります。

「B075D」「0」「5」「1」「8」「ZZ」

読取りコード桁数設定時のご注意

- ・チェックデジットが付加されているバーコード
チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データ+チェックデジットの桁数を指定してください。
- ・チェックデジットが付加されていないバーコード
チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データの桁数を指定してください。
ただし、チェックデジット検証が有効の場合、桁数に関わらず読取りができません。
チェックデジットが付加されていないバーコードを読取る場合はチェックデジット検証を無効に設定してください。
- ・スタート・ストップキャラクタ転送が有効でもスタート・ストップキャラクタを含めない桁数を設定してください。
- ・指定した桁数以外の Code 128 バーコードを読取ろうとした場合、一瞬でスキャンが中断します。
”読取り成功“とお間違えのないようご注意ください。

6. 複数台の設定用バーコード表の作成

あらかじめ設定バーコード表を作成し、順に設定バーコードを読み取ることにより、複数台の CyclopsM へ同じ設定を簡単に反映させることができます。

尚、設定バーコードは、弊社ホームページの「CyclopsM 設定サイト」で簡単に作成ができます。

「設定バーコード作成」を選択してください。

CyclopsM 製品ページ : <https://www.alf-net.co.jp/products/data-collector/cyclops-m-alfark-6100x/>

コードもしくはパラメータのみを入力し、生成ボタンをクリックしてバーコードを作成してください。

作成後、そのまま画面をスキャンするか、印刷をしてお使いください。

また、バーコード画像をコピーして、設定バーコード表を作成してお使いください。

(例)

















設定バーコード作成


設定ガイドの「コード」を入力し、設定バーコードを生成します。
必要な設定のバーコードを生成して、順にスキャンしてください。
入力開始コードの場合は、続けて英数字バーコードを1桁ずつ入力して、生

No.1	A004A8	生成	電源 OFF 時間を「60 分」に設定
No.2	A025A1	生成	バイブレーションを「振動あり」に設定
No.3	B113A	生成	バーコード読み取りタイムアウトを「2 秒」に設定
No.4	0	生成	
No.5	2	生成	
No.6	ZZ	生成	
No.7	B115B	生成	BT スキャナモードでの HID 通信に関する設定のヘッダーを「\$」に設定
No.8	2	生成	
No.9	1	生成	
No.10	ZZ	生成	



























7. 英数字バーコード



























英数字の入力に使用します。

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
数字 (16進数)		0		8
		1		9
		2		A
		3		B
		4		C
		5		D
		6		E
		7		F

機能	バーコード	コード
入力終了※		ZZ
入力中止		CL

※ 各設定で入力終了バーコードを読んだ時に、エラー音があった場合は、入力中止バーコードを読んだ後に「入力開始」バーコードからやり直してください。

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
英字 (大文字)		A		B
		C		D
		E		F
		G		H
		I		J
		K		L
		M		N
		O		P
		Q		R
		S		T
		U		V
		W		X
		Y		Z

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
英字 (小文字)		a		B
		c		D
		e		F
		g		H
		i		J
		k		L
		m		N
		o		P
		q		R
		s		T
		u		V
		w		X
		y		z

付録 1 ASCII コード表

ASCII コードは以下の通りです。こちらを参考に設定を行ってください。

1文字目→ ↓2文字目	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUM	*		J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	}	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

※グレーとなっているコードは、設定できません。

付録 2 キーコード表

キーコードを 2 文字で入力します。

例 「9」を選択する場合、1 文字目は横列の 2 となり、2 文字目は縦列の 6 となり、[2][6]の 2 文字となります。

iOS、Android 端末等の英語キーボード 通常入力

1 文字目→ ↓2 文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		m	3]	F7	Left	8
1		n	4	\	F8	Down	9
2		o	5		F9	Up	0
3		p	6	;	F10	Num Lock	.
4	a	q	7	'	F11	/	
5	b	r	8		F12	*	
6	c	s	9	,	Print Screen	-	
7	d	t	0	.	Scroll Lock	+	
8	e	u	Enter	/	Pause	Enter	
9	f	v	ESC	Caps Lock	Insert	1	
A	g	w	Back Space	F1	Home	2	
B	h	x	Tab	F2	Page Up	3	
C	i	y	SP	F3	Delete	4	
D	j	z	-	F4	End	5	
E	k	1	=	F5	Page Down	6	
F	l	2	[F6	Right	7	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例: z = 1D

iOS、Android 端末等の英語キーボード Shift 入力

1文字目→ ↓2文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		M	#	}	F7	Left	Up
1		N	\$		F8	Down	Page UP
2		O	%	~	F9	Up	Insert
3		P	^	:	F10	Clear	Delete
4	A	Q	&	“	F11	/	
5	B	R	*		F12	*	
6	C	S	(<	Print Screen	-	
7	D	T)	>	Scroll Lock	+	
8	E	U	Enter	?	Pause	Enter	
9	F	V	ESC	Caps Lock	Insert	End	
A	G	W	Back Space	F1	Home	Down	
B	H	X	Tab	F2	Page Up	Page Down	
C	I	Y	SP	F3	Delete	Left	
D	J	Z	_	F4	End		
E	K	!	+	F5	Page Down	Right	
F	L	@	{	F6	Right	Home	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例: & = 24

Windows 端末等の日本語キーボード 通常入力

1文字目→ ↓2文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		m	3	[F7	Left	8
1		n	4]	F8	Down	9
2		o	5		F9	Up	0
3		p	6	;	F10	Num Lock	.
4	a	q	7	:	F11	/	
5	b	r	8		F12	*	
6	c	s	9	,	Print Screen	-	
7	d	t	0	.	Scroll Lock	+	
8	e	u	Enter	/	Pause	Enter	
9	f	v	ESC	Caps Lock	Insert	1	
A	g	w	Back Space	F1	Home	2	
B	h	x	Tab	F2	Page Up	3	
C	i	y	SP	F3	Delete	4	
D	j	z	-	F4	End	5	
E	k	1	^	F5	Page Down	6	
F	l	2	@	F6	Right	7	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例: z = 1D

Windows 端末等の日本語キーボード Shift 入力

1文字目→ ↓2文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		M	#	{	F7	Left	Up
1		N	\$	}	F8	Down	Page UP
2		O	%		F9	Up	Insert
3		P	&	+	F10	Num Lock	Delete
4	A	Q	'	*	F11	/	
5	B	R	(F12	*	
6	C	S)	<	Print Screen	-	
7	D	T		>	Scroll Lock	+	
8	E	U	Enter	?	Pause	Enter	
9	F	V	ESC	Caps Lock	Insert	End	
A	G	W	Back Space	F1	Home	Down	
B	H	X	Tab	F2	Page Up	Page Down	
C	I	Y	SP	F3	Delete	Left	
D	J	Z	=	F4	End		
E	K	!	~	F5	Page Down	Right	
F	L	“	`	F6	Right	Home	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例: & = 23

付録 3 AIM コードの各バーコードの修飾子

バーコードタイプ	修飾子	状態
UPC/JAN/EAN	0	UPC-E、UPC-A、JAN/EAN-13 の標準バーコードの場合
	3	UPC-E、UPC-A および JAN/EAN-13 にて+2 桁または 5 桁のアドオンの場合
	4	JAN/EAN-8 の標準バーコードの場合
	7	JAN/EAN-8 にて+2 桁または 5 桁のアドオンの場合
	例: 12345670 をスキャンすると]E412345670 となります	
Code 39	0	チェックデジット転送有効、検証無効の場合
	1	チェックデジット転送有効、検証有効の場合
	3	チェックデジット転送無効の場合
	例: チェックデジット検証有効+チェックデジット転送有効の設定で 1234567S をスキャンすると]A11234567S となります	
Code 128 GS1-128	0	FNC1 が START コード直後にない場合
	1	FNC1 が START コード直後にある場合
	例: <FNC1>12345678 をスキャンすると]C112345678 となります	
NW7(Codabar)	0	チェックデジット転送有効、検証無効の場合
	2	チェックデジット転送有効、検証有効の場合
	4	チェックデジット転送無効、検証無効の場合
	6	チェックデジット転送無効、検証有効の場合
	例: チェックデジット検証有効+チェックデジット転送有効の設定で 12345672 をスキャンすると]F212345672 となります	
ITF (Interleaved 2of5)	0	チェックデジット転送有効、検証無効の場合
	1	チェックデジット転送有効、検証有効の場合
	2	チェックデジット転送無効、検証無効の場合
	3	チェックデジット転送無効、検証有効の場合
	例: チェックデジット検証有効+チェックデジット転送有効の設定で 1234567890123452 をスキャンすると]I11234567890123452 となります	
GS1 DataBar	0	常に 0 となります
	例: (01)01234567890128 をスキャンすると]e00101234567890128 となります	

改訂履歴

版数	変更内容	改定日
1.0	初版	2021/01/22